

松前重義 まつまへ じゅうぎ 電気技術者、政治家、工學博士。明治二十四年十月  
 二十四日熊本縣生れ、平成二年八月二十五日歿（一九〇一—一九一〇）。大正十  
 四年東北帝國大學電氣工學科卒。遞信省入省。昭和七年電話通信の無  
 装荷ケーブル方式を發明、十二年支那で長距離電話通信に成功し、多  
 重通信の進歩に貢献。十九年東條英機首相を批判したため、二等兵と  
 して異例の召集を受ける。復員後遞信院總裁、二十七年衆議院議員  
 （當選二回）。東海大學學長、東海學園總長。『松前重義著作集』全  
 十卷（昭和二十七年—四十二年刊）がある。  
 著書『技術人と技術精神』（昭和十七年八月十日白揚社）、『決戦下  
 青年の訴ふ』（合著・非凡閣編輯局編、昭和十九年四月十日非凡閣）、  
 『決戦科學技術』（合著・芳香會—藤森謙一編、昭和十九年七月十五  
 日山海堂）、『二等兵記』（昭和二十五年十一月—二十五年日本出版協  
 同株式會社）等。

